



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社ダイドーリミテッド
 コード番号 3205

上場取引所 東・名

URL <https://www.daidoh-limited.com/>

代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 鍋割 幸

問合せ先責任者(役職名) 執行役員経理財務部長

(氏名) 白子田 圭一 (TEL) 03-3257-5022

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	12,703	△29.6	△1,887	—	△1,708	—	△3,400	—
2020年3月期第3四半期	18,032	△8.7	△488	—	△250	—	△382	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △3,764百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 △418百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△104.55	—
2020年3月期第3四半期	△11.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	32,902	10,258	30.0	302.34
2020年3月期	36,787	14,226	37.2	421.40

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 9,879百万円 2020年3月期 13,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	17,000	△28.0	△2,900	—	△2,700	—	△4,600	△141.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 除外 1社 (社名) 大同利美特 (上海) 有限公司

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	37,696,897株	2020年3月期	37,696,897株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	5,019,439株	2020年3月期	5,210,878株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	32,522,986株	2020年3月期3Q	32,435,028株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(追加情報)	P. 7
(重要な後発事象)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の影響により急速に悪化して推移し、非常に厳しい状況が続いております。

衣料品業界におきましては、政府の緊急事態宣言にともなう商業施設の臨時休業や営業時間の短縮、外出自粛による消費マインドの低下、行動様式の変化などにより、極めて厳しい状況となりました。世界規模での収束の兆しが見えない中で先行き不透明な状況が続いており、個人消費や消費マインドの回復には時間を要することが見込まれます。

このような経営環境のなか、当社グループは「お客様第一」「品質本位」の経営理念の基に、事業の効率化と成長が期待される事業の強化に取り組んでまいりました。

衣料事業では、ライフスタイルや消費行動の大きな変化が予想されるなか、小売部門は販売チャネルごとの状況に応じて売上高の確保に努めるとともに、仕入をコントロールし在庫の適正化を進めてまいりました。また、Eコマースの収益拡大の取組の一環として、10月に自社運営のオンラインストアのリニューアルを実施いたしました。製造部門では、グループ全体の収益基盤の再構築を図るため、中国の製造工場のニット製品製造部門の操業を停止いたしました。

不動産賃貸事業につきましては、小田原の商業施設「ダイナシティ」は、緊急事態宣言発令時も、地域のライフラインとして、入居テナントの協力のもと食料品や医薬品等の販売店舗を中心に一部区画での営業を継続いたしました。通常営業の再開後は新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じながら営業しており、来館者数は回復しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は12,703百万円（前年同四半期比29.6%減）、営業損失は1,887百万円（前年同四半期は営業損失488百万円）、経常損失は1,708百万円（前年同四半期は経常損失250百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3,400百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失382百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して3,884百万円減少し、32,902百万円（前連結会計年度末比10.6%減）となりました。この主な変動内容は、現預金の増加、投資有価証券の減少などです。純資産は3,967百万円減少し10,258百万円となり、自己資本比率は30.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、第3四半期連結会計期間の状況などを踏まえ、売上高17,000百万円（前回発表予想は18,200百万円）、営業損失2,900百万円（前回発表予想は営業損失2,300百万円）、経常損失2,700百万円（前回発表予想は経常損失2,000百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失4,600百万円（前回発表予想は親会社株主に帰属する当期純損失2,700百万円）と修正いたしております。

本日別途開示いたします「特別利益の計上、特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しならびに連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,527	5,354
受取手形及び売掛金	2,289	1,917
たな卸資産	4,219	4,491
その他	1,146	1,048
貸倒引当金	△87	△29
流動資産合計	11,095	12,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,594	6,062
その他（純額）	991	887
有形固定資産合計	7,585	6,950
無形固定資産		
のれん	649	587
その他	1,828	1,786
無形固定資産合計	2,478	2,373
投資その他の資産		
投資有価証券	12,541	9,698
その他	3,367	1,434
貸倒引当金	△281	△337
投資その他の資産合計	15,627	10,795
固定資産合計	25,691	20,119
資産合計	36,787	32,902

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,326	973
短期借入金	6,603	9,803
1年内返済予定の長期借入金	3,750	1,544
未払法人税等	68	31
賞与引当金	108	74
ポイント引当金	30	28
その他	2,395	3,648
流動負債合計	14,283	16,103
固定負債		
長期借入金	2,651	1,829
長期預り保証金	2,817	2,009
退職給付に係る負債	216	203
その他	2,592	2,498
固定負債合計	8,277	6,540
負債合計	22,561	22,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,891	6,891
資本剰余金	8,055	7,912
利益剰余金	3,194	△290
自己株式	△4,130	△3,976
株主資本合計	14,011	10,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,876	△1,101
為替換算調整勘定	1,555	443
その他の包括利益累計額合計	△321	△657
新株予約権	193	164
非支配株主持分	342	214
純資産合計	14,226	10,258
負債純資産合計	36,787	32,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	18,032	12,703
売上原価	9,705	7,396
売上総利益	8,327	5,306
販売費及び一般管理費	8,815	7,194
営業損失(△)	△488	△1,887
営業外収益		
受取利息	206	172
受取配当金	149	127
受取手数料	139	110
補助金収入	—	150
その他	79	80
営業外収益合計	574	641
営業外費用		
支払利息	150	138
持分法による投資損失	14	185
為替差損	43	28
支払手数料	74	66
その他	54	43
営業外費用合計	337	462
経常損失(△)	△250	△1,708
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	21	95
子会社清算益	67	1,112
その他	—	15
特別利益合計	89	1,225
特別損失		
固定資産除売却損	3	33
減損損失	—	8
投資有価証券売却損	206	278
投資有価証券評価損	—	944
事業構造改善費用	—	184
その他	—	25
特別損失合計	210	1,476
税金等調整前四半期純損失(△)	△371	△1,958
法人税、住民税及び事業税	138	57
法人税等調整額	△133	1,396
法人税等合計	4	1,453
四半期純損失(△)	△376	△3,412
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5	△12
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△382	△3,400

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△376	△3,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	285	775
為替換算調整勘定	△328	△1,127
その他の包括利益合計	△42	△352
四半期包括利益	△418	△3,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△372	△3,733
非支配株主に係る四半期包括利益	△46	△31

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響については、今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にあります。

当社グループの前連結会計年度末時点での繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りにおいては、外出自粛の要請や緊急事態宣言の発令により、店舗の営業時間短縮や臨時休業等の影響により売上高が減少し、2021年3月期下期から回復する仮定を置いておりましたが、現状を鑑み再度検討を行った結果、感染拡大の影響は当連結会計年度末ごろまで継続するものとして前提を変更し、会計上の見積りを行っております。

この仮定のもと、当社の連結子会社である株式会社ダイドーフォワードにおきまして、当第3四半期会計期間末における繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産のうち1,487百万円を取崩し、法人税等調整額に計上しております。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社の持分法適用関連会社である株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパンについて、株式を追加取得し連結子会社化したしました。

(1)企業結合の概要

①被取得企業の名称および事業の内容

被取得企業の名称	株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパン
事業の内容	アメリカブランド「BROOKS BROTHERS」の衣料品及び服飾品等の販売
規模	資本金125百万円(2020年7月31日現在)

②企業結合を行った主な理由

日本における「ブルックス ブラザーズ」のブランド価値向上、株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパンの安定的運営および当社グループとの全体的なシナジー効果の観点から、当社の株式保有比率を増やし、出資比率を変更することといたしました。

③企業結合日

2021年1月29日(株式取得日)
2021年1月31日(みなし取得日)

④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤結合後企業の名称

名称の変更はありません。

⑥取得する議決権比率

企業結合直前に所有している議決権比率40.0%
企業結合日に追加取得する議決権比率40.5%
取得後の議決権比率80.5%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものです。

(2)被取得企業の取得原価および対価の種類ごとの内訳

守秘義務契約により非開示とさせていただきます。

(3)被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

現時点では確定していません。

(4)主要な取得関連費用等の内訳および金額

現時点では確定していません。

(5)発生するのれんの金額、発生原因、償却方法および償却期間

現時点では確定していません。

(6)企業結合日に受け入れる資産および引き受ける負債の額ならびにその主な内訳

現時点では確定していません。